



やさしい言葉一つで心が暖かくなりますね

# おだ京子

前鴻巣市議会議員 無所属

本気で鴻巣を考えています！！  
**少子・高齢社会の「今」**  
**政治に「女性」が必要です。**

発行／京子フォーラム 編集／織田京子

市民相談事務所：鴻巣市鴻巣 1066-1 常久ビル 2F

TEL 048 - 543 - 8622

FAX 048 - 543 - 8625

ホームページ <http://odakyon.com>

メール [odakyon@amber.plala.or.jp](mailto:odakyon@amber.plala.or.jp)

自宅 鴻巣市宮地 1 - 2 - 3 1

<略歴>

平成 14 年 市議初当選 (1 期目)

平成 18 年 文教福祉常任委員会委員長 (2 期目)

平成 19 年 市議会副議長 (3 期目)

平成 21 年 議会運営委員会委員長

平成 22 年 5 月、3 期目で市長選出馬のため辞職

座右の銘：継続は力なり

保守系無所属

## 市民の皆様、お元気でおすごしてでしょうか？



梅の花も咲いてきて、春を感じさせる今日この頃ですが、

朝晩はまだまだ寒いですね。風邪などひきません様にお体を大事にしてください。

市民の皆様の応援が、私の元気の源です。

昨年市長選の時は、医療の充実と社会保障を掲げて立候補し、皆様には大変お世話になりました。(感謝・感謝) あれから半年が経ち、現在私は、無料の市民相

談を中心に、講演会活動や財政の勉強会、親学アドバイザーの資格を取得と精力的にこなしています。最近市民の方によく言われるのが、「私たちの要望を伝える立場

にもどってほしい。」ということでした。何ヶ月も悩みました。考えました。そして私のしたいことは、市民の皆様の幸せを守る事、皆様の意見を議会に届ける事

なのだとは再確認致しました。再び市民の皆様のお役に立ちたいと思います。

4月には、初心に戻り元の立場に戻れるように頑張りますので、市民の皆様、ぜひ応援して下さいね！！

新しい事務所に引っ越してきて、2回目の「おだきょん通信」(1回目が通信34号・2回目がこの通信35号)を作っていた時。この欄に何を書こうかとばらばら冊子をめくっていたら、**おもしろい話**が載っていたので紹介します。



「先生、お元気ですか。我が家の姉もそろそろ色づいてまいりました。」

他家の姉が色づいたとて知った事か、と手紙を受け取った教授は「柿」の書き間違いと気づくまで何秒ぐらいかかったか。



「あ、そうか! あははは・・・」と私が笑い出すまで2秒ぐらいかかったかも。誰もいない夜10時の事務所に私の笑い声が響き渡り、思わず後ろを振り返ってしまいました。笑うということは、健康にも精神面でもいいものです。

まだ、**笑える自分があることは、頑張ろうという気持ちにさせてくれます。**

**山笑う**という日本語もあります。早く春が来て、山が新緑になり大いに笑ってほしいものですね。

**<笑う所に福きたる>**という諺は、まさに確信をついています。私は今、親が子どもをいかに育てるかによって、将来の日本がかかっていると思います。何億円ものお小遣いを容易くあげるような育て方をされた人物が国会議員になったのでは、国も良くはなりません。**まずは難しい事は後にして、子どもと一緒に笑ってみましょう!**親子で元気になりますよ。(年に関係なく) **最近笑う事を忘れていませんか?**

**おだきょんに対する要望・相談(25)** 1人で悩まずに相談に来て下さい。

**市民さん**

「70代になります。一人暮らしです。町内会の役がまだ回ってきます。この歳で変わってくれる家族もいません。冬など遠くまでの役は体にこたえます。町内の役員さんに言っても「みんな通ってきた事だから」と理解してくれません。次に役が回ってくることを考えると夜も眠れません。市で決め事にできないのでしょうか。」

**おだきょん**

「町内会によっては、70才以上の方は、役員をしなくても良い町内会もあります。私がおだきょんに直接話しに行くのも失礼ですので、まず市の担当職員さんに、その町内会と相談してもらいます。それから**市内すべての町内会の取り決め**にできないものか市で検討してもらいます。市民さん、一緒にがんばろうね。」